

フレッシュマンコーナー

新規開業便り

防府医師会 うえだ内科・循環器クリニック

上田 亨

2019年5月7日に防府市岸津に新規開業させて頂きました^{うえだ とうる}上田 亨と申します。私は山口県立大津高等学校（長門市）卒業後に医学とは縁の無い東京都内の大学へ進学し、1999年に卒業しました。その後、一般企業勤務後に再受験を経て2004年に29歳という年齢で杏林大学医学部へ再入学しました。杏林大学は再受験生には寛容でしたので同学年には約10名前後の再受験生がいました。経歴も様々で、前職が大工、バレリーナ、薬剤師、獣医師、歯科医師、商社マン、銀行員、自衛官など多彩でした。年齢も17～59歳と幅広く、二度目の学生生活をそれなりに楽しく過ごしていました。

平成22年に35歳で医学部を卒業し、そのまま山口県立総合医療センターへ初期研修医として

勤務させて頂きました。その後は、山口大学第二内科入局、後期研修も山口県立総合医療センターにて循環器を専攻してしまいました。様々な先生方の御指導もあり循環器専門医を無事に取得することができました。元々、地域密着型の医療に興味がありましたので、自分の年齢・体力などを熟考し開業させて頂く運びとなりました。

開業準備までの1年間は予想以上に忙しく、開業地選定・書類手続き・医療機器選定・建物や広告デザイン・スタッフ面接等を通常勤務終了後や休日等に行っていました。初めての事ばかりでしたが、普段とは違う世界を経験できたので、とても新鮮でした。実際に開業してみると、専門外の疾患を診察する事も多く、患者さん呼び出し・レントゲン撮影・エコー検査等も含めてクリニック内を慌ただしく動き回っています。開業前に懸念していた体重増加は今のところは何とか防げています。

患者さんには可能な限り医学用語を使用せずに簡易な言葉と例え話で病態説明を心がけていますが、更に分かりやすい例え話がないかを考えるのも今では楽しみの一つです。現在、看護師3名と事務3名で運営していますが、経験のある明るいスタッフばかりで



す。患者さんへの対応も感心するばかりで、私自身も非常に助けて頂いています。診察時間終了後には書類の山に忙殺されてしまい、毎晩遅くまで残業する生活にも悪い意味で慣れてしまいました。勤務医時代は近所を通過する救急車のサイレンが聞こえた数分後には携帯電話が鳴っては病院へ呼び出されていた生活が続いていたため、現在も救急車のサイレンが聞こえる度に携帯へ意識が集中してしまいます。

開業前は子供達と一緒に出掛けることが出来ず見送る側でしたが、現在は一緒に出掛けることも多少は出来るようになりました。先日も家族でリング狩りへ出かけようとしたところ、4歳の息子

から「一緒に行けるの?」と不思議そうに言われました。小さい子ながら「父親と一緒に外出はできないんだろうな」と思わせていたようです。

スタッフともども、これからも初心を忘れないように努力してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

「若き日（青春時代）の思い出」原稿募集

「若き日（青春時代）の思い出」をご紹介いただける投稿を募集いたします。

投稿規程

字数：1,500 字程度

- 1) タイトルをお付けください。
- 2) 他誌に未発表のものに限ります。
- 3) 同一会員の掲載は、原則、年 3 回以内とさせていただきます。
- 4) 編集方針によって誤字、脱字の訂正や句読点の挿入等を行う場合があります。また、送り仮名、数字等に手を加えさせていただくことがありますので、ある意図をもって書かれている場合は、その旨を添え書きください。
- 5) ペンネームでの投稿は不可とさせていただきます。
- 6) 送付方法は電子メール又は CD-R、USB メモリ等による郵送（プリントアウトした原稿も添えてください）をお願いします。
- 7) 原稿の採用につきましては、提出された月の翌月に開催する広報委員会で検討させていただきますが、内容によっては、掲載できない場合があります。

【原稿提出先】

山口県医師会事務局総務課内 会報編集係

〒 753-0814 山口市吉敷下東 3-1-1 山口県総合保健会館 5 階

TEL : 083-922-2510 FAX : 083-922-2527

E-mail kaihou@yamaguchi.med.or.jp